



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 大幸薬品株式会社

コード番号 4574 URL <http://www.seirogan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柴田 高

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務本部長

(氏名) 吉川 友貞

TEL 06-6382-1135

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,373	60.9	248	—	252	—	203	—
23年3月期第1四半期	853	△56.7	△226	—	△243	—	△123	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 214百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △121百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	15.71	15.37
23年3月期第1四半期	△9.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	11,014	8,462	76.7
23年3月期	11,253	8,293	73.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 8,451百万円 23年3月期 8,287百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	19.1	84	—	84	—	10	—	0.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想については、感染管理事業における季節特性(秋口からの需要本格化)の動向次第等では、同期間の業績が大きく変動する可能性があることから、現時点では、引き続き未定としております。今後、予想が可能となった時点で開示する予定であります。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	12,939,600 株	23年3月期	12,913,200 株
24年3月期1Q	126 株	23年3月期	126 株
24年3月期1Q	12,922,793 株	23年3月期1Q	12,783,560 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（以下、当第1四半期）におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、生産活動の停滞や物流機能の寸断に加え、消費マインドの低下や当面の電力供給への懸念も拡大する等、被災地域のみならず国内全般にその影響が波及し、今後の見通しが極めて不透明な状況で推移致しました。

この様な状況の下、当社グループの連結経営成績は、以下の通りとなりました。

医薬品事業におきましては、堅調な店頭販売と流通在庫の減少により、当第1四半期の国内向け出荷が、前年同期に比して増加したことに加え、中国市場での販売回復により海外向け出荷も堅調であったことから、医薬品事業全体の売上高は前年同期を上回って推移致しました。

感染管理事業におきましても、出荷を上回る著しい返品によりマイナスの売上高を計上した前年同期に比し、当第1四半期は、流通在庫の減少に伴う返品の縮小と出荷の増加により、売上高はプラスの水準に回復致しました。

これらにより、当第1四半期の売上高は、対前年同期比519百万円増（60.9%増）の1,373百万円と大幅に増加し、売上総利益も対前年同期比291百万円増（42.2%増）となる983百万円となりました。また、販売費及び一般管理費は、前連結会計年度より開始した事業構造改善施策（感染管理事業の自社在庫圧縮や希望退職者の募集等）の効果として、在庫保管料や人件費、支払手数料等が前年同期に比して減少したことから、対前年同期比183百万円減（19.9%減）の734百万円となりました。

これらの結果、営業損益は対前年同期比474百万円増の248百万円の利益（前年同期は226百万円の損失）となり、経常損益は対前年同期比495百万円増の252百万円の利益（前年同期は243百万円の損失）、四半期純損益は対前年同期比326百万円増の203百万円の利益（前年同期は123百万円の損失）となりました。

セグメント別の業績につきましては以下の通りであります。

(医薬品事業)

国内向け売上高は、主力製品『正露丸』及び『セイロガン糖衣A』の流通在庫が高水準にあった前年同期に比し、当第1四半期は当該在庫水準が改善し、店頭販売も堅調であったことから、当社の売上高も前年同期を上回って推移致しました。

海外向け売上高につきましても、香港市場は前年同期に比して微減となったものの、重点エリアと位置付ける中国市場での出荷が回復（前年同期は、現地での販売ライセンス更新手続きにより一時的に出荷が停止）したことから、海外向け全体も前年同期を上回りました。また、当第1四半期より中国市場で初めて『康腹止泻片』（日本では『セイロガン糖衣A』）の販売を開始しております。

これらにより、当第1四半期の医薬品事業の売上高は、対前年同期比250百万円増（26.6%増）となる1,195百万円となりました。また、損益面につきましては増収に伴う売上総利益の増加に加え、前年同期に比して新聞広告を減少させたことによる広告宣伝費の減少（当該減少分は第2四半期以降に使用の予定）や、人件費の減少（人員数減少による金額の低下及び感染管理事業の売上高増加に伴う医薬品事業への費用配賦割合の低下）等により、セグメント損益は対前年同期比195百万円増（51.4%増）となる576百万円の利益となりました。

(感染管理事業)

前連結会計年度は過剰な水準にあった「クレバリン」シリーズの流通在庫が、当期初時点では大幅に減少したこと等に伴い、当第1四半期は前年同期に比して返品が縮小し、主力製品である一般用『クレバリンゲル』を中心とした出荷も堅調に推移致しました。これらにより、当第1四半期の感染管理事業の売上高は、対前年同期比269百万円増の171百万円（前年同期は返品が出荷を上回る△97百万円の売上高）とプラスの水準に回復致しました。また、損益面につきましても、増収に伴う売上総利益の増加に加え、自社在庫の圧縮に伴う在庫保管料の減少や、人件費及び研究開発費の減少等により、セグメント損益は対前年同期比178百万円増の14百万円の利益（前年同期は163百万円の損失）となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行いました。売上高は前年同期比微減の6百万円、セグメント損益は前年同期に比し、損失幅は縮小したものの4百万円の損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における資産合計は11,014百万円（前連結会計年度比239百万円減）となりました。また、負債合計は2,551百万円（同408百万円減）、純資産合計は8,462百万円（同168百万円増）となりました。前連結

会計年度からの主な変動要因は、現金及び預金の減少等による流動資産193百万円の減少、未払金の減少等による流動負債420百万円の減少、また、四半期純利益の計上等による利益剰余金138百万円の増加であります。なお、自己資本比率は前連結会計年度から3.1ポイント上昇し、76.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表致しました予想値から変更はありません。なお、平成24年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想については、感染管理事業における季節特性（秋口からの需要本格化）の動向次第等では、同期間の業績が大きく変動する可能性があることから、現時点では、引き続き未定としております。今後、予想が可能となった時点で開示する予定であります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,185,590	3,946,760
受取手形及び売掛金	1,322,082	1,550,779
商品及び製品	619,447	569,088
仕掛品	597,929	606,248
原材料及び貯蔵品	309,289	312,923
その他	406,105	264,054
貸倒引当金	△9,217	△11,642
流動資産合計	7,431,226	7,238,213
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,110,914	1,182,214
機械装置及び運搬具(純額)	212,721	254,011
土地	1,552,337	1,552,337
その他(純額)	298,855	138,779
有形固定資産合計	3,174,828	3,127,342
無形固定資産	77,470	74,905
投資その他の資産	569,786	573,650
固定資産合計	3,822,085	3,775,898
資産合計	11,253,312	11,014,111
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	314,443	293,419
未払法人税等	5,781	8,455
返品調整引当金	246,000	233,000
賞与引当金	123,940	27,132
その他	1,350,815	1,058,570
流動負債合計	2,040,980	1,620,577
固定負債		
退職給付引当金	309,830	325,924
役員退職慰労引当金	6,400	6,900
長期未払金	565,700	565,700
その他	37,196	32,891
固定負債合計	919,126	931,415
負債合計	2,960,107	2,551,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	137,064	143,915
資本剰余金	48,293	55,144
利益剰余金	8,212,800	8,351,288
自己株式	△204	△204
株主資本合計	8,397,954	8,550,143
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,313	12,229
為替換算調整勘定	△121,331	△110,790
その他の包括利益累計額合計	△110,017	△98,561
新株予約権	5,268	10,536
純資産合計	8,293,204	8,462,119
負債純資産合計	11,253,312	11,014,111

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	853,442	1,373,349
売上原価	245,082	403,180
売上総利益	608,359	970,169
返品調整引当金戻入額	97,000	246,000
返品調整引当金繰入額	14,000	233,000
差引売上総利益	691,359	983,169
販売費及び一般管理費	917,684	734,652
営業利益又は営業損失(△)	△226,324	248,517
営業外収益		
受取利息	317	438
受取配当金	1,369	909
受取賃貸料	4,011	1,283
受取保険金	—	7,980
その他	3,949	4,986
営業外収益合計	9,647	15,600
営業外費用		
為替差損	24,550	11,475
その他	1,859	216
営業外費用合計	26,409	11,691
経常利益又は経常損失(△)	△243,087	252,426
特別損失		
固定資産除却損	110	—
災害による損失	—	1,630
特別損失合計	110	1,630
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△243,198	250,795
法人税、住民税及び事業税	1,127	3,031
法人税等調整額	△121,109	44,710
法人税等合計	△119,982	47,741
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△123,215	203,053
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△123,215	203,053

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△123,215	203,053
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,075	915
為替換算調整勘定	7,723	10,540
その他の包括利益合計	1,648	11,456
四半期包括利益	△121,567	214,509
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△121,567	214,509
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	944,396	△97,944	6,991	853,442	—	853,442
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	944,396	△97,944	6,991	853,442	—	853,442
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	381,196	△163,987	△8,714	208,495	△434,820	△226,324

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△434,820千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△434,820千円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,195,356	171,864	6,128	1,373,349	—	1,373,349
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,195,356	171,864	6,128	1,373,349	—	1,373,349
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	576,994	14,428	△4,559	586,863	△338,346	248,517

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△338,346千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△338,346千円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。